1953年6月16日　第三種郵便物認可

2024年11月4日（月）3173号　隔週月曜日発行

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ
日本被団協のノーベル平和賞受賞　6、7面
平和と女性の権利向上、子どものしあわせを目指して　3面
社会を科学的に見る（上）　10、11面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp　▶ Eメール minsin@dylj.or.jp

赤旗報道の裏金問題大争点に

石破茂首相は10月9日、衆議院を解散し、10月27日に総選挙を行いました。首相就任からわずか9日間の会期での解散でした。民青同盟は、総選挙を日本社会と青年の未来を左右する一大政治決戦であると位置づけてたたかいました。記者も宣伝に加わり、各地の奮闘を取材しました。

（文中の青年は仮名、齊藤崇記者）

「どこに入れたら」模索 渦巻く

今回の総選挙では、自民・公明与党が現有議席を大幅に後退させ、過半数を割り込みました。裏金問題での無反省や度重なる経済失策、民意を無視した大軍拡などを進める自民党に国民が審判を下した結果です。これは単なる石破政権への審判にとどまりません。「財界中心」「アメリカいいなり」の「二つの異常」を特質とする自民党政治がいよいよ崩壊を迎えつつあるということです。政権運営をめぐって今後政局は動きますが、いずれにしても国民に審判を下された金権腐敗政治、「財界中心」「アメリカいいなり」政治から抜け出せるかどうかが問われることになります。

日本共産党は8議席を獲得。改選時の議席から2議席後退しました。しかしながら、日本共産党が暴いた政治資金パーティーの裏金問題、非公認候補者が代表を務める自民党支部に自民党本部から2000万円の資金が振り込まれていた事態は、国民に衝撃を与えました。日本共産党と「しんぶん赤旗」が裏金問題を大争点に押し上げました。また、金権腐敗政治の一掃、自民党政治からの転換のうったえは、有権者から共感を得ました。

民青同盟は班で、「日本共産党と一緒に政治を変えよう決議」をあげてたたかいました。各地で、「自民党はひどいけれど、どこに投票したらいいのか」という青年の模索に応える宣伝・対話をくり広げました。

各地の宣伝に取材に入る中で、記者は街頭の青年と対話しました。10月17日には、早稲田大学前で昼休みの時間を利用して宣伝が行われました。出会った早稲田大学の学生（3年）は「日本共産党の米軍基地問題や日米安保条約についての考え方に共感する。不平等な軍事同盟ではなく、対等平等な関係の方がいい」と話し、日本共産党の支持を表明してくれました。

10月19日、神奈川県横浜市の東神奈川駅では、「1日に自由な時間がどれくらいあるか」を問う項目があるシールボードを使った宣伝が行われました。多くの青年が、1日に自分の好きなように使える時間が少ないと回答しました。ある青年（25）は「仕事があるので自由な時間は全然ない。有給もほとんど取れていない」と切実な実態を話してくれました。

東京都品川区の大井町駅での宣伝で出会った高校生は、アンケートで特に「学費無償化の政策」に共感していました。その理由を「公立高校に通っているが、私立高校の学費は公立高校と比べてあまりに高いと思う。これほどの差がなければ、私立でも興味のあるところがあったので、もっと自由に高校を選べた」と話しました。

大井町駅前で対話したある青年（26）は、9条を生かした平和外交に特に共感しました。敵基地攻撃能力について、最初は「必要なのではないか」という立場でしたが、「日本が軍備を増強したら、他国も同じように増強するためきりがない」という説明に納得して、日本共産党の地域の青年後援会にも気軽に登録してくれました。

▲10月18日の淵野辺駅前での宣伝で、街頭の青年と対話する村井さん（左端）

青年の要求を実現させるために

街頭宣伝に参加した同盟員からは、それぞれの選挙にかける思いが語られました。

10月18日には神奈川県相模原市の淵野辺駅前で宣伝が行われました（右写真）。参加した神奈川県の北部学生集合班の村井優乃さんは、今年の6月に民青に加盟したばかりだといいます。「民青に入ったきっかけは、街頭でのシールアンケート対話で興味を持って、ちょうど学費の値上げには反対という気持ちがあったし、フランスの国公立大学の授業料が2・2万円だということをその時初めて知った。あとは『アメリカいいなりの自民党政治』のことが加盟呼びかけ文に書かれていて、政治のことや世の中のことを学んでみたいと思っていたので加盟した」と話します。

（2面につづく）

新しい仲間と共に立ち上がった総選挙

発行所
日本民主青年同盟中央委員会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2
電話(03)5772-5701 FAX(03)-5772-5702

日本民主青年同盟中央機関紙

定価　月680円 〒130円 1部340円
郵便振替00180-4-106690